

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名

サンクエールの森

公表日 2026年2月6日

利用児童数 6 回収数 6

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4	2			不適切とは感じていないですが、職員数が増えて送迎や入浴の利用が増えるとうりだと思います。	法令に定められた職員数に加えて、看護職員を1名配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5		1			お子さまが、わかるような配置を検討して、実施します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	1				専門職で連携をして、お子さまの特性に応じた支援をしています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5	1				丁寧な説明を心がけて、ご理解いただけるように努めてまいります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	1				
保護者への説明等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。			1	5		保育所等の交流は利用者様の状況に合わせて個別で対応させていただいています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4		1	1		丁寧に説明をして、ご理解いただけるように努めてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5			1		今年度はご家族様が参加できる研修会を家族会で行いました。今後は、参加しやすい方法を検討してまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	1		1		定期的な面談等はありませんが、適宜、面談の機会は設けたいと思います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	1				家族会という形で今年度は開催いたしました。来年度以降は参加しやすいように検討して、開催する予定です。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1				各種マニュアルは整備していますが、保護者の皆様への周知が不十分だったため広報誌やLINE等でお知らせいたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5		1			地震と火災の避難訓練を行っています。結果等を情報発信してまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4			2		事故等が発生した際には、速やかにご家族様に連絡するように努めています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5	1				利用者様が行きたいと思っていただけるように支援させていただきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	6					

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		サンクエールの森	公表日				2026年2月6日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	長期休みのときは狭いと感じるときがある。 利用人数が増えたり、長期休みで朝から多くの利用者さんがいる際は狭いので配置など工夫が必要。	配置の工夫が必要である。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		夕方など手がいる際は生活介護の職員が助けに来てくれている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	静養室に空調がなく狭いため感染の方がでた場合など使用しにくい状況である。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		ブラインドの紐は手が届かないようクリップなどで止めている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3	感染の方が出た場合など、空調がなく狭いため静養しづらい状況である。	感染症等で個室対応をしなければならないときには、工夫して場所を確保する必要がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1		話し合いの場を設ける必要があります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		業務改善のアンケートをとって、改善に取り組んでいます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		現在は、利用者・社内の2社評価を行っています。第三者による外部評価については、現在、実施の予定はありませんが、今後、必要に応じて、実施を検討してまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2		事業所での研修は行っていますが、外部研修には参加できていない状況です。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		検討して、子どもたちの状況を把握できるようにしていきます。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	3		他職種への相談、意見の聞き取りをもっとする必要があります。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1		固定化しないように月ごとに検討しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1		人数に合わせて活動しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2		朝礼等で確認をしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2		反省会等を取り入れていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		個人ファイルに特記事項などの詳細を記載しスタッフが確認できるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		職員の意見を聞いて、会議に参加するようにしています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		お互いが事業所や学校での様子を見学し情報共有している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	2	3		現在、助言をいただくような事案はないですが、適宜、連絡、相談を受けていただいています。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	交流できる機会をつくっていきたい	地域の子どもたちとの交流があればよいと思っています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5		その日の出来事をお伝えし、自宅での様子なども親御さんにお聞きし情報共有するようにしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		家族会を行いました。が、参加人数があまり多くなかったことから検討して、家族等の参加できる機会を設けていきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1		丁寧に説明を行っています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			

保 護 者 へ の 説 明 等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人の携帯にフルネームではなくても利用者さんの個人情報がはいつてくるので、個人の携帯には送らず、職場のiPadで確認できればいいと思う。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1		契約時に確認できるように努めてまいります。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		主治医指示書にアレルギーの項目を追加して、指示をいただけるようにしていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			



	公表	児童発達支援事業所における自己評価総括表
--	----	----------------------

○事業所名	サンクエールの森			
○保護者評価実施期間	2025年11月24日 ～ 2025年12月29日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数)	
○従業者評価実施期間	2025年11月15日 ～ 2025年12月29日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月23日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	クリニックが隣接していて、連携が取れるため安心して、ご利用いただ得けるのではないかと思います。	月1回、会議をして、クリニックとの連携を図っている。	家族との医療的なことについて相談を受けた場合、クリニックと連携して、対応できるように努める。
2	毎日、同じ職員が出勤しており、また、多職種が集まっているので、連携した関わりができる。	多職種間で意見交換ができる。	いろいろな職種の方から刺激を受けながら、成長発達に向けた日々の関わり方をスタッフ間で相談し、統一して関わりができるようにしている。
3	委員会を設置して、安全、安心の意識を高めている。	必要な研修の実施や足りない備品など、各委員会で話し合ったことを共有することができる。	各委員会で提案された事項については回覧等で共有できるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	時間に追われて、仕事に余裕がなくなることがある。	場所や人数の限界があり、焦りが出てしまうことがある。	よく話あって事業所でできることとできないことをすり合わせる。
2	時間帯によっては、人員不足になることがある。	スタッフ一人が利用者一人にかかりっきりになり、他の利用者へ対応できないことがある。	入浴の時間帯の見直しをする。
3	開所して日がたっていないので、決まりごとがはっきりしていないことが多い。	起こった出来事をその場その場で考え対応しているため。	先を見通して定期的な話し合いをしていく。